

いきものふれあいの森通信

2026.08.25 第21号



○ ひなたぼっこ 水辺あそび遠足

7月17日（金）に、『松本シュタイナー認定こども園ひなたぼっこ』の皆様が、真夏の暑い中、水遊びに足を運んでくださいました。水辺広場のせせらぎで元気に遊んだ後は、森の入口休憩所でお弁当を食べたり、目の前の池で自然観察をしたりと盛りだくさんの一日となりました。皆様にとって笑顔あふれる楽しい一日になったことと思います。



○ ネイチャリングフェスタ

7月26日（日）自然体験を楽しむイベント『ネイチャリングフェスタ』が開催されました。数ある企画のなか、子どもたちに人気の一つとなっている、『昆虫教室』も開催されました。山と自然博物館から森の入口休憩所まで散策しながら、みんなで昆虫探しを行いました。ナナフシモドキが数多く姿を見せてくれ講師の方からもその特徴について興味深いお話を伺うことができました。途中からあいにくの雨模様となりましたが、場所を博物館へと移して「まとめの会」を行いました。過酷な自然を生き抜く虫たちの「生存戦略」など、昆虫の不思議な世界について子どもたちにも分かりやすく教えていただき、みんな真剣に耳を傾けていました。夏休み最初の思い出作りにぴったりの、充実した楽しい一日となりました。



○ ひなたぼっこ、もりのくらふと合同企画

『水辺のおもちゃ工作』

7月28日（火）森の入口休憩所にて、親子で楽しむ水辺のおもちゃ作りイベントを開催しました。竹や木片を使い、小さな子どもでも、のこぎり、やすりなどの道具を安全に扱えるよう工夫しながら、小さなお舟を工作しました。また、



工作だけでなく、歌に合わせた親子のふれあい遊びも行い、終始なごやかな時間を過ごしました。

○ セミの抜け殻を探せ！2026年



8月5日（水）長野県環境保全研究所、自然観察の会ひこばえ、そして参加された皆様と一緒に、セミの抜け殻探しを行いました。今年は、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシ、エゾゼミ、エゾハルゼミの7種、約660個もの抜け殻を採取することができました。採集後は森の入口休憩所に移動し触角の形状など細かなポイントをじっくり確認しながら、全員で分類作業を行いました。抜け殻を収集・分類することで、セミたちの生息環境がどのように影響し合っているか考える良い機会となりました。暑い中での活動でしたが、子供たちにとって楽しみながら学びを深められた場となったことと思います。



○ もりのくらふと

『夏休み木でつくる自由工作』



8月5日(水)・6日(木)の2日間にわたり、古民家体験学習施設にて工作教室が開催されました。参加し

た親子連れは、竹や木材を使い、のこぎり等の道具の正しい使い方を確認しながら、作品作りに挑戦。ルームプレートや、ビー玉を転がす竹のレールスライダー、ミニチュアの家など、それぞれ思い思いの作品を楽しく完成させていました。夏休みの自由工作として形に残り、素晴らしい思い出の一ページとなったことと思います。



○ 池の生き物 観察会

8月16日(日)

松本市山と自然博物館、小鳥と小動物の森、アルプス公園の合同企画として、昨年に続き2回



目となる夏休み特別イベントを開催しました。SNS等での広報効果もあり、当日は10組31名の多くの皆様にご参加いただき、賑やかな観察会となりました。親子で力を合わせて池の生き物を探したり、大人が子供たちを優しくサポートしたりと、和気あいあいとした雰囲気の中で生き物探しを楽しみました。中には、普段はなかなか入ることのできない池の奥深くまで果敢にチャレンジする親子の姿も見られました。



今回の観察会では、イトトンボやギンヤンマのヤゴ、コオイムシ、マツモムシなどの水

生昆虫をはじめ、池の周辺ではトノサマガエルなどの両生類、ニホントカゲやカナヘビなどの爬虫類、さらにはバッタやオケラ、シオカラトンボ、キイトンボ、ギンヤンマなど、実に多様な生き物たちを観察することができました。採集した生き物の解説を行った後、観察を終えた生き物たちは感謝を込めて元の場所へと逃がしました。参加者の皆様にとって、身近な生き物や自然環境について楽しく学ぶ、絶好の機会となったのではないかと思います。



今年の夏は連日のように熱中症警戒アラートが発令されましたが、予防対策を講じながら無事に実施することができました。新企画を含め、さまざまなプログラムが開催され、子どもたちにとっても思い出深い充実した夏休みになったのではないかと思います。

伝言板

「アルプス公園サポートクラブ」

場所:アルプス公園 花の丘

日時:9月9日(水)・9月30日(水)

午前8時30分～10時30分

・集合場所 花の丘階段の下

(東駐車場の架け橋を渡った先)

お気軽にご参加下さい。